

ゴールド・デマンド・トレンド

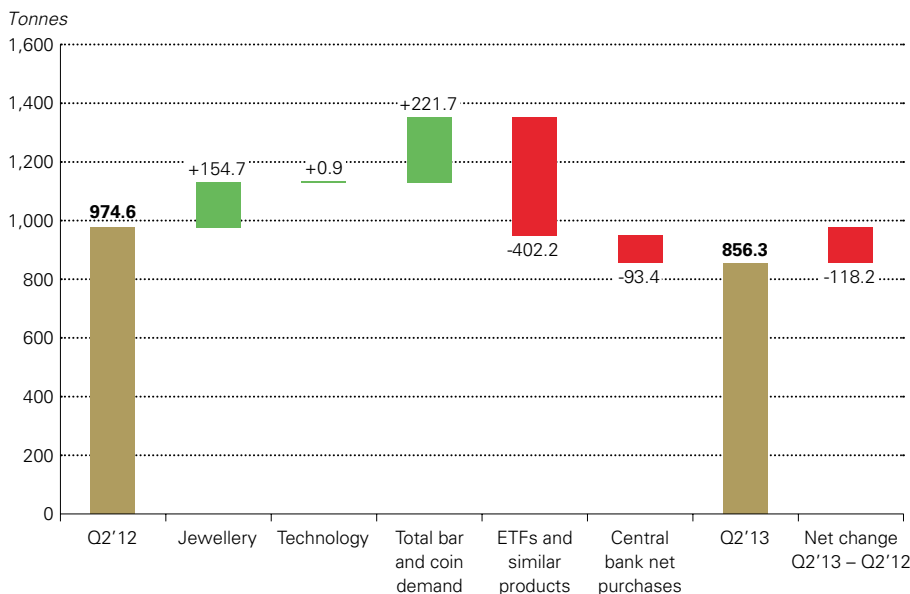
2013年第2四半期

2013年8月号

www.gold.org

第2四半期の世界の金需要は856.3トン、金額ベースで390億米ドルでした。同四半期は金価格の下落を背景として金宝飾品の需要が急増し、特にインドと中国で顕著な伸びが見られました。金地金・金貨の投資額は四半期ベースで過去最高を記録しましたが、米国の経済見通しに改善が見られたことから、欧米投資家はその先の量的緩和政策の縮小を視野に入れて金ETF(上場投資信託)を大量に売却し、投資の増加分は相殺されました。

総需要の変化(2013年第2四半期と2012年第2四半期の対比、トン)



Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

目次

概要	02
世界の金市場—第2四半期	06
宝飾品	06
投資	08
中央銀行	10
テクノロジー	10
供給	11
金需要統計	13
付録	21
注記および定義	25

寄稿者

Louise Street

louise.street@gold.org

Krishan Gopaul

krishan.gopaul@gold.org

Johan Palmberg

johan.palmberg@gold.org

Juan Carlos Artigas

juancarlos.artigas@gold.org

Marcus Grubb

マネージング・ディレクター、インベストメント
marcus.grubb@gold.org



概要

第2四半期は動揺が大きく、需要は12%減の856.3トンとなりました。ETFからの相次ぐ資金流出がその主な原因ですが、金地金・金貨の需要が過去最高を記録したことで軽減されました。前四半期に続いて宝飾品の需要が大きく伸び、数年来の高い水準に達しています。供給は6%減少しましたが、その主な原因はリサイクル金の供給の著しい減少です。

表1: 2013年第2四半期金需要概要

	Tonnes				US\$mn			
	Q2'12	Q2'13	5-year average	Year on Year % change	Q2'12	Q2'13	5-year average	Year on Year % change
Jewellery	420.8	575.5	503.9	37	21,775	26,179	20,854	20
Technology	103.3	104.3	108.8	1	5,348	4,743	4,528	-11
Investment	285.9	105.4	374.5	-63	14,794	4,794	15,779	-68
Total bar and coin demand	285.9	507.6	297.7	78	14,795	23,091	12,968	56
ETFs and similar products	0.0	-402.2	76.8	-	-1	-18,297	2,809	-
Central bank net purchases	164.5	71.1	49.9	-57	8,514	3,236	2,776	-62
Gold demand	974.6	856.3	1,037.1	-12	50,430	38,952	43,936	-23

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

第2四半期の需要の減少はトンベースでは12%でしたが、金額ベースでは23%減少し、390億米ドルとなりました。これは過去3年以上で最低の水準です(表1)。同四半期には金価格の明らかな下落が見られ、金1オンスの価格は400米ドル以上も下落しました。四半期の平均金価格は前期(2013年第1四半期)および前年同期(2012年第2四半期)のいずれと比較しても10%以上安くなっています(表2)。このような金相場の動向を踏まえると、金額ベースの減少幅が拡大したことは当然と言えるでしょう。金価格の大幅な変動にもかかわらず、金地金・金貨の金額ベースの総需要は231億米ドルと過去最高に到達し、同セクターの強さが証明されました。

金価格の変動は市場の供給サイドにもインパクトを与え、リサイクル金の供給が急激に減少しました。価格急落局面における通常の反応として、リサイクル活動は縮小しました。価格の下落にともなってリサイクルで利益を求めた動機も失われたため、途上国の消費者を中心に、古い金製品を手放さなくなったことが大きく影響しています。リサイクルに関する詳細は、供給のセクションをご参照ください。

第2四半期には以下の4つの特徴が見られました。1) 金宝飾品に対する消費者需要が引き続き強く回復。2) 国際舞台でインドと中国が大きな役割を發揮。3) 投資セクター間の差異が拡大。4) 需要の焦点が西から東にシフト。これらの特徴はすべて、前四半期とくらべて顕著になりました。

表2: 各国通貨ベースの平均金価格

	2011	2012	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13	Q2'13	Q2'13 vs Q2'12 % chg
US\$/oz	1,571.5	1,669.0	1,609.5	1,652.0	1,721.8	1,631.8	1,414.8	-12
€/oz	1,129.9	1,298.7	1,254.7	1,320.2	1,328.8	1,235.6	1,083.2	-14
£/oz	980.8	1,053.0	1,016.6	1,045.3	1,072.6	1,051.6	921.4	-9
CHF/kg	44,649.6	50,323.7	48,464.7	51,088.5	51,603.7	48,792.5	42,865.7	-12
¥/g	4,015.8	4,278.2	4,144.4	4,174.8	4,478.6	4,834.7	4,492.5	8
Rs/10g	23,624.1	28,639.4	28,004.8	29,302.1	29,964.7	28,420.8	25,381.0	-9
RMB/g	326.3	338.5	327.6	337.3	345.7	326.5	280.0	-15
TL/g	85.4	96.6	93.5	95.8	99.3	93.6	83.6	-11

Source: LBMA, Thomson Reuters Datastream, World Gold Council

金宝飾品需要が急増

2013年第1四半期に力強さを示した金宝飾品の消費者は、第2四半期も活発に活動し、需要は金額ベースで過去最高に近い水準に達しました。トンベースの需要が平均金価格の下落をはるかに上回るペースで伸びたため、金額ベースの需要は20%増加しました。

宝飾品の需要には、経済成長、消費者のセンチメント、可処分所得などさまざまな要素が関連しますが、金価格下落の影響の大きさはこれらをすべて凌駕しました。その結果として金購入の熱狂的な動きが生じ、地域によってはサプライチェーンのボトルネックによって供給が需要に追いつかず、金価格が高騰するケースもありました。

需要増加のトレンドは世界のほぼすべての地域で見られましたが、インド、中国、中東、そしてアジアの比較的小規模な国々で、前年比の伸び率が特に目立ちました。投資対象としての意味合いから、ほとんどの市場でカラット数の高い宝飾品に注目が集まりました。唯一、欧州だけは宝飾品の需要が拡大しませんでした。これは同地域の長引く経済不安を考えれば妥当な結果と言えます。

米国経済は予想通り2期連続でプラス成長を達成し、宝飾品の価格低下も好感されました。米国内市場では再び高級市場で需要が堅調でしたが、中価格帯でも低カラット商品に向かう動きが弱まる兆候が見られました。また卸売り業者にとって価格の下落は、季節的に宝飾品需要が高まる第4四半期に備えて早めに在庫を確保する好機となり、卸売りレベルの需要の伸びが全体の需要を押し上げました。

引き続きインドと中国が宝飾品分野を牽引

世界の消費者向け金市場では、同四半期もインドと中国が主役となり、両国で合わせて金宝飾品需要の約60%、金地金・金貨需要の約半分を占めました。年初来の消費者需要(宝飾品および金地金・金貨)は両国ともに2012年の同時期を50%近く上回っています。

両国ともに、第2四半期の力強い需要の背景には、消費者レベルだけでなく、価格下落を在庫補強の好機ととらえる商業レベルの日和見的な購入活動があったと考えられます。このような消費者の態度は、特に伝統的に価格の上昇局面で購入量が増える傾向がある中国においては意外な結果と言えるでしょう。しかも第2四半期は、第1四半期に旧正月関連の金需要がピークを迎えた後にあたり、通常は需要が底を打つ時期であることから、この現象の特異性が際立っています。ただしこのような反応は、市場の価格上昇期待の強さを反映した結果という一面もあります。価格上昇期待はインドでも同様に見られました。このことは次ページで紹介するワールド・ゴールド・カウンシルの調査でも裏付けられています。

図1は、インドおよび中国の消費者の間で今後の金価格が安定または上昇するという確信が強まり、特に長期的な見通しがポジティブであることを示しています。注目すべきなのは、大幅な価格下落局面で価格上昇期待が強まっており、今後の金価格の動向に対して極めて弾力性の高いセンチメントであることが明らかになったということです。

金宝飾品の価値が依然として高いことは需要の伸びが裏付けています。消費者は、金の値下がりを利用して少ない支出で済まそうとするのではなく、むしろ可処分所得を積極的に金に費やそうとしています。実際のところ、インドと中国の両市場とも宝飾品需要は現地通貨ベースで30%以上も伸びており、この好機に金購入の予算が増大していることがうかがわれます。また両国ともに、金価格の下落に対するポジティブな反応を後押しする条件がそろっていました。もともと両国では金が文化的に非常に重要な意味を持っており、そこに中流階級の成長、比較的高いインフレ率とインフレ期待という要素が加わったのです。

第2四半期のデータでは、中国における金投資が依然として力強いことも裏付けられました。その背景には、同国の株式市場のパフォーマンスが低調で代替投資先として魅力がないこと、国内の信用危機や景気後退の懸念が消えないこと、過去数年と比べれば深刻ではないもののインフレ圧力が徐々に高まっていること、魅了された国内投資家にとって金投資商品が増えて参加しやすくなったことが挙げられます。

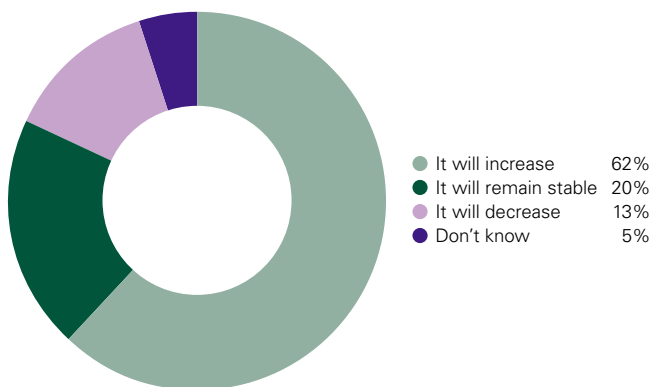
インドでは第2四半期に金地金・金貨の需要が過去最高を記録しましたが、ここで必ず考慮に入れる必要があるのは、同国の新情勢をめぐる内部事情、つまり政府が金輸入量を抑制して経常赤字の改善を図っているということです。政府が5月に金輸入の支払条件に規制を設け、6月初めに輸入関税を引き上げたことから、インドの金市場には不確実性が生じました。しかしエンドユーザー需要への影響は限定的であり、金価格が下落した4月以降に健全な水準まで積み増された在庫で需要が満たされました。とはいえ6月には輸入が徐々に減少しており、また市場が季節的に低調な期間に入って、政府が金輸入の規制を拡大するとともに関税を8%まで追加で引き上げたことから、需要は急激に減速しました。

期間の後半になるにつれ、政府の力点は支払条件の規制から、輸入した金の一部を輸出義務に割り当てることへと変化しています。これがさらなる混乱を引き起こし、第4四半期の祭事・婚礼シーズン前の第3四半期の需要の落ち込みが例年以上に顕著になる可能性があります。しかし興味深いことに、インドでは価格プレミアムが最近再び上昇しており、需要の健全さが示唆されています。最近のインド準備銀行(RBI)の規制に対する市場の理解や順応が進んでいけば、今年はこれまでのところモンスーン期の雨量が十分なこともあり、年後半にかけて力強い需要が期待できます。

図1: インドと中国の消費者調査: 今後5年間で金価格はどうなると思いますか?

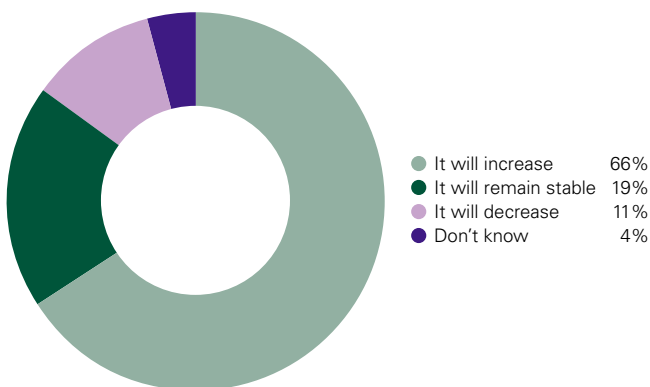
May 2013

(Average price of gold during fieldwork: US\$1,461/oz)



July 2013

(Average price of gold during fieldwork: US\$1,235/oz)



- 調査の結果、4月の金価格下落以降も、インドと中国の消費者が金価格にポジティブな見通しを持っていることが判明
- この結果は、需要の反応の力強さを説明する助けになる

Note: Survey of 1,000 Indian and 1,000 Chinese consumers and their attitudes towards gold conducted by the World Gold Council during May – July 2013.

Source: World Gold Council

投資セクター間で相殺する動き

前回のゴールド・デマンド・トレンドでも触れていますが、第2四半期には、米国経済の回復の兆しに反応して多くのヘッジファンドや投機的投資家が金ETFのポジションを解消したため、ETFの流出が加速しました。米国政府が2013年末までに量的緩和政策を縮小するとの観測から、ETF投資家の一部で金を安全な避難先と見なす主な理由が薄れ、金価格には強力な下向き圧力が働きました(金のパフォーマンスに影響を与える要素に関する詳細な議論は、『Gold Investor』第3号をご参照ください)¹。第2四半期のETF保有量は400トン以上の純流出という結果になりました。

一方、金地金・金貨のセクターでは、「リテール・レベル」の投資家が、急激な金価格の下落に対し今までにない反応を見せました。これについてはワールド・ゴールド・カウンシルの最新の『Market Update』で取り上げています²。インフレ・ヘッジと富の貯蔵という金の本質的な属性に注目する戦略的投資家が、金価格の下落を利用して長期的な金保有の積み増しを図ったために、同セクターの需要は急増しました。

第2四半期には、過去最高を記録した金地金・金貨の需要がETFの流出分を上回り、この2つのセクターの差がより大きく広がりました(図2)。今後もETFの流出は続くと思われるが、保有者基盤の動きが不活発になっていることから、そのペースは減速する見込みです。一方金地金・金貨の需要は、前四半期の極めて高い水準を維持することは難しいかもしれませんが、アジア市場を中心に強固な基盤を保っています。

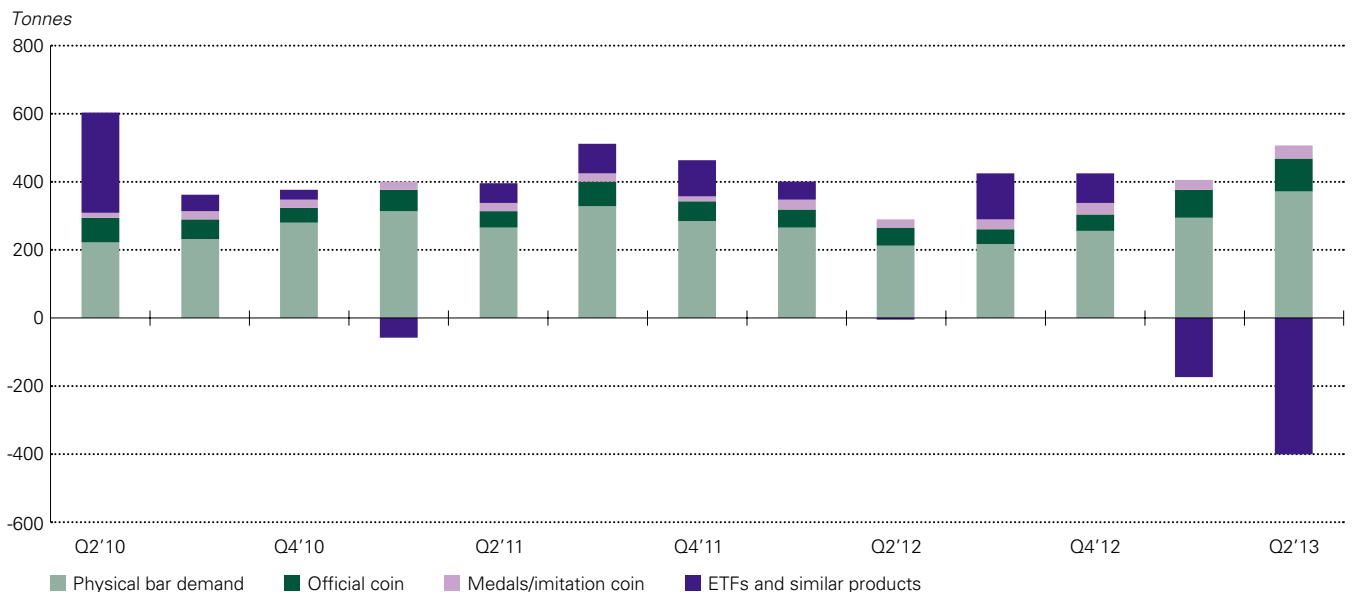
金需要の焦点は東にシフト

ETFと金地金・金貨の需要の対照的な動きには、金投資の別の变化、すなわち西から東への地理的なシフトも影響しています。

2008年の金融危機を受けて、金投資の振り子は西に振れました。危機の拡大ともなって欧州や米国で金投資が活性化しました。しかし、今後数四半期は逆の現象が生じる可能性があります。特にインドや中国が優位性を確立していることを踏まえ、金需要の焦点は西から東へとシフトするでしょう。

このような見方の広まりを示唆する証拠もあります。オーストラリア・ニュージーランド銀行(ANZ)は、アジア太平洋地域の金需要の伸びに対応するために、同地域の貿易ハブを目指すシンガポールに金保管所を開設しました。ANZは最も新しい例ですが、それ以外にも各国の銀行がシンガポールに金保管所を設置しています。また日本では、トレンドに逆行する形で第2四半期に金ETF保有量が増加しました。世界全体の保有量から見れば微々たるものですが、ここにも地理的なシフトが表れています。

図2: 分野別の投資需要



- 第2四半期は金地金・金貨の需要が過去最高に達し、ETFの流出分を相殺

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

1 『What drives gold? Factors that influence gold and its role in a portfolio』、Gold Investor, Volume 3, 2013年7月、ワールド・ゴールド・カウンシル
 2 『Market Update』、2013年第2四半期、ワールド・ゴールド・カウンシル

世界の金市場ー

2013年第2四半期

宝飾品

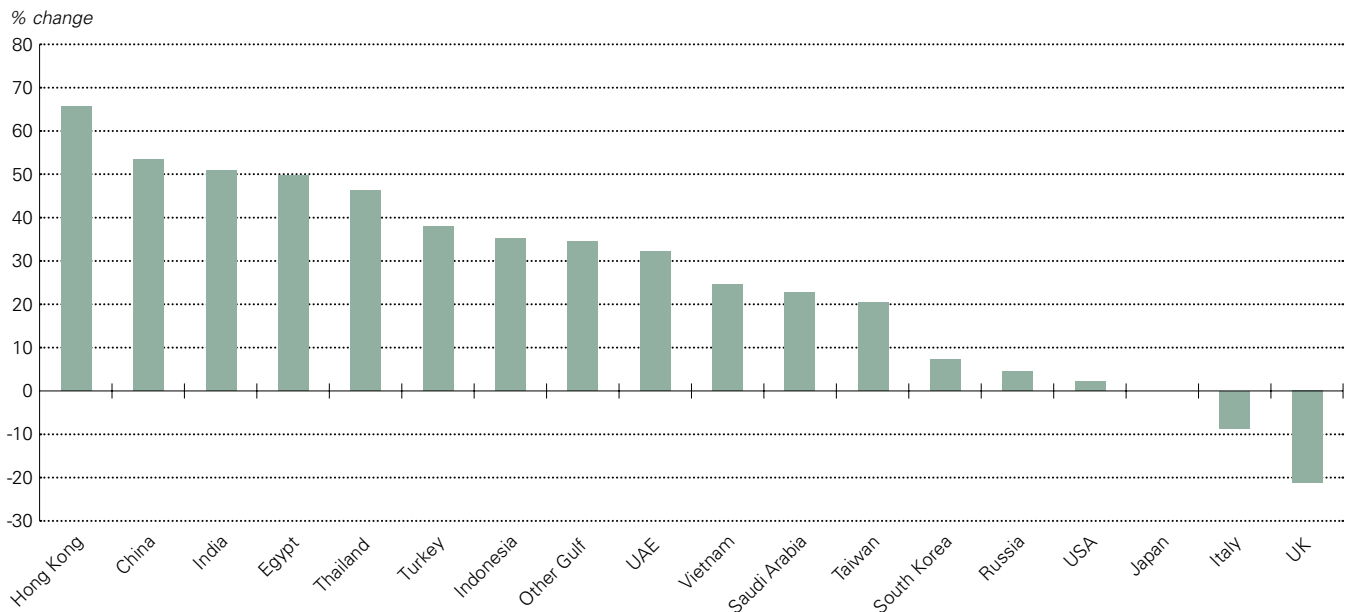
第2四半期のトンベースの宝飾品需要は、金価格の急激な下落が世界的にポジティブに受け止められたことから、過去5年間で最大となりました。そして値下がりにもかかわらず、金額ベースでも過去4番目の高い水準を記録しました。

トンベースでの需要増加が最も大きかったのはインドと中国で、増加分155トンのうち約120トンが、このアジアの2大国で生み出されました。インドでは、市場が金輸入規則変更への対応を余儀なくされているため、第3四半期は例年以上に需要が落ち込むことが予想されます。しかし各種の指標によると、第4四半期の需要見通しは依然としてポジティブです。中国

では、国内の宝飾品小売ネットワークの拡大と生産能力の向上が継続し、宝飾品需要に長期的なプラス効果を及ぼしています。ただし短期的には、景気後退が進んだ場合に市場が逆風にさらされる可能性があります。両国に関する詳細は概要のセクションをご参照ください。

需要の伸び率が最も大きかったのは香港で、過去最高の12.1トンに達しました(図3)。香港でも中国本土と同じような状況が見られました。宝飾品小売業者がいつせいに動き出し、在庫が尽きて店頭商品の補充に目立った遅れが生じました。中国本土から香港への旅行者も増加したが、香港の需要増加分の大半は本土の消費者が生み出しました。香港の消費者は現在の有利な価格環境を生かそうと考え、婚嫁向け宝飾品に注目が集まりました。

図3: 国別宝飾品需要(2013年第2四半期と2012年第2四半期の対比、変化率%)



- 金価格の下落を受けて、アジアや中東の消費者が積極的に金を購入
- 商業レベルの在庫の補充が貢献し、多くの市場で宝飾品需要が2桁の伸び

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

アジアでは、比較的小規模な国々の多くで宝飾品需要の成長率が2桁台を記録しました。ただし日本は例外で、消費者の焦点が投資商品に向かったために、宝飾品需要は前年から変化しませんでした。インドネシアでは需要が7.8トンに達し、第2四半期としては2009年以来の高い水準となりました。同国では4月の価格下落に需要が敏感に反応しました。6月に需要はやや減速しましたが、7月には再び持ち直す兆しが見られました。商業レベルの在庫の補充も需要の伸びに貢献しました。

トルコの宝飾品需要は22億トルコ・リラに達し、現地通貨ベースで過去最高を記録しました。トンベースでも5年間の四半期平均である21トンを大きく上回りました。トルコの市場では、予期された消費者の安値買い行動に加え(投資の意味合いも重なって需要は22カラット商品に集中)、商業レベルで需要が増加したことも重要な特徴です。売り上げがピークを迎える夏を前に、低価格で在庫を確保できる機会は業者にとっても魅力的だったことがわかりました。

中東地域の需要の伸びは、ほぼ完全に価格の推移と連動しました。ワールド ゴールド カウンシルではすでに、ドバイにおける価格プレミアムの極めて大きな影響について解説しました。UAEの需要は、22カラット商品を好むUAE在住インド人の大きなコミュニティが強引に牽引しました。

金価格の下落に対する欧米の消費者の反応はまちまちでした。概要のセクションで述べたように、米国市場には改善が見られましたが、西欧市場ではネガティブな経済状況が、金価格の下落をもたらすポジティブな影響を圧倒しました。イタリアの消費者は銀や卑金属の代替商品への興味を強めました。英国では9カラット商品が最も打撃を受けたセグメントの1つとなり、需要の大きいファッション市場で苦戦しました。また英国の純度検証刻印のデータからは、ハイエンドの22カラット商品が比較的堅調であり、刻印を受けた商品について金含有量が相対的に上昇していることも明らかになりました。

ロシアの宝飾品需要は金融危機以前の水準に向けて回復を続けています。各種レポートでは、需要がハイエンドとローエンドに集中して市場の二極化が進んでいることが示唆されています。2013年通年の見通しは良好ですが、国内経済の軟化を受けて、この分野の成長率が抑制される可能性があります。

投資

概要のセクションで述べたように、第2四半期に金投資商品の需要が大きく減少した背景には、やや複雑な図式が隠れています。あるプロ投資家がETFを清算する一方で、アジア市場や中東市場の投資家は、市場に流出した金を金地金・金貨の形で積極的に獲得しました。こうした異なる投資家行動には、あるセクターの需要増加が別のセクターの需要減少を相殺するという金市場の独特のバランスが表れています。

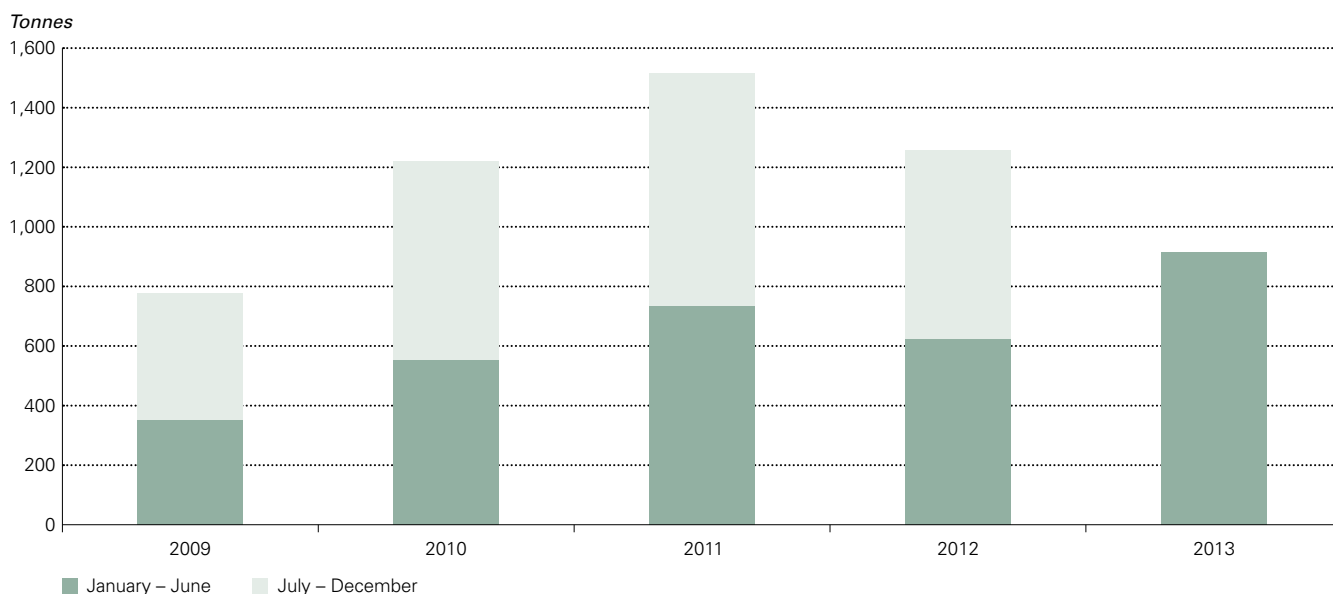
店頭市場(OTC)投資と在庫変動(可視性が低い投資の流れや在庫変動の可能性、ならびに統計残差を把握する投資要素)を加えた総投資需要も、前年と比べて大幅に減少しています。金額ベースで見ると投資需要は2年ぶりの低水準となりました。

OTC投資と在庫変動の需要は、金預金口座(全体の金地金・金貨の需要には含まれない)への投資など多数のソースからの流入があり、151.5トンとなりました。こうした投資手段に対する関心の高まりが目立ったのは、中国、トルコ、日本です。この数字には、ETFのポジションをすべて売却した一部の投資家が特定口座に持続的にシフトしていることも影響していると考えられます。

2013年上半期は金地金・金貨の需要が913.2トンとなり、2012年の通年需要の約4分の3に達しました(図4)。この需要の大きさはLBMAの最近の統計で裏付けられています。LBMAのデータによると、6月には、金取扱銀行が保有する口座間の月間金移動量が2カ月連続で12年ぶりの高水準を記録しました。6月の1日当たりの取引量は平均2900万オンスで、LBMAは「特に中国やインドの現物需要が強力な支えとなった」と指摘しています³。

金価格の下落に対し、ほぼ世界全体でポジティブな反応が見られました。ワールド ゴールド カウンシルが調査した国の中ではフランスだけが唯一の例外でした。インドと中国(概要のセクションで詳細に説明)を除いた世界の金需要は262.7トンでした。過去にこの水準を上回ったのは、金融危機直後の2008年第4四半期と、欧州がソブリン債危機に見舞われた2011年第3四半期の2度だけです。

図4: 金地金・金貨総需要



- 2013年上半期での金地金・金貨の総需要は、2009～2012年の平均通年需要の76%に相当

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

3 http://www.lbma.org.uk/pages/index.cfm?page_id=51&title=clearing_-_most_recent_figures

投資家の大部分は、金価格の下落を安く金保有高を増やせる好機ととらえ、活気づきました。また価格下落を受けて既存投資の利益確定売りが低調だったこともあり、結果として純投資額は大きく伸びました。**この最たる例が日本で、新規の金投資が売却分を4.5トン上回りました。**日本市場は2006以降、実質的に売り越し状態が継続していると見られていました(為替と株式市場が不安定になり、一時的に投資の急増が見られた2008年第4四半期を除く)。日本の需要の主な牽引役は若い世代であり、市場における新たな投資の発生源になっています。一方、年配世代の利益確定売りは、第2四半期の前半に金価格が5,000円/グラムの高値をつけたことを契機に加速しましたが、価格の下落にともなって著しく縮小しました。

ワールド ゴールド カウンシルは以前、過去数カ月でETFから流出した金をアジアの投資家が吸収する可能性を指摘しましたが、これが現実になったと考えられます。サプライチェーンのボトルネックによって、第2四半期には世界の多くの市場で金の価格プレミアムが高水準(場合によっては過去最高)に達しました。精製所がフル稼働したにもかかわらず、大きな金の延べ棒(ロンドングッド・デリバリー・バーおよび100オンスの延べ棒)を小さな延べ棒に精製する作業がアジアの消費者の需要に追いつかなかったのです。**この現象は比較的小規模な市場(タイ、ベトナム、インドネシア)の成長によって浮き彫りになりました。**ベトナムの中央銀行が売却する金のプレミアムがときおり200米ドル/オンスを超えるなど、この3カ国の需要は年初来で合わせて46%増加しました。

欧州における投資の急増の大部分は、ドイツおよびドイツ語圏の国々が占めました。投資需要は金貨よりも金地金に集中し、中でも250グラムの延べ棒に最も人気が集まったことが報告されています。スイスでは相当量の金の売却があったものの、新規純投資も堅調で、投資額の大幅な伸びのほうが目立ちました。

米国の投資家も同様に、価格下落局面における金地金・金貨保有高の積み増しのチャンスに反応しました。米国のイーグル金貨の購入が相次ぎ、1/10オンス金貨は4月半ばに在庫が補充されたにもかかわらず、在庫切れで販売停止となりました。

トルコの需要はトンベース(37.9トン)と金額ベース(32億トルコ・リラ)のいずれも四半期の最高記録を更新しました。この数字は主に戦略的な投資目的の購入を反映したのですが、夏の婚礼シーズンに向けた贈与品としての金貨の購入の影響も目立ちました。第3四半期の初めの数週間にトルコ造幣局のストライキが発生したため、第3四半期は金の非公式な流れが活発化する可能性があります。

第2四半期にトルコが力強さを見せたのと同様に、中東の需要も11.6トンと過去最高を記録しました。UAEの需要は、ここでも在住インド人の動向に大きく左右されました。

4月の金価格下落は需要の急増をもたらしましたが、6月の価格下落に対しては、多くの市場が比較的慎重な初期反応を見せました。しかしながら、事例証拠では、価格のボラティリティが落ち着いたことを受けて、7月の初めの数週間には、需要再活性化の兆しが表れています。直近の需要増加には戦術的な性格のものが含まれており、年後半に金価格が上昇した場合、一部は利益確定のため売却される可能性があります。しかし需要の大部分は、金の現物保有量を増やそうとする長期的投資家が生み出しています。

中央銀行

中央銀行における第2四半期の金準備の増加は、ワールド ゴールド カウンシルがこれまでに引用した水準(70~160トン)の範囲内でした(図5)。需要は減速していますが、前年比の数値は需要が過去最高を記録した2012年第2四半期との比較です。中央銀行による金購入の減少にはさまざまな要因があると考えられます。すなわち同四半期間の変動の激しい金価格の動き、新興国通貨の下落、一部中央銀行における外貨準備高の伸び率の鈍化といった要因です。

第2四半期の金購入は独立国家共同体(CIS)諸国に集中し、最も多かったロシアは同四半期に15トンを購入しました。ロシアは年初来で金準備を約39トン買い増しています。一方、ドイツは6月に少量(1トン未満)の金準備を売却しましたが、これは金貨鑄造を目的とする財務省への定期的な売却の一環でした。

ワールド ゴールド カウンシルは中央銀行が引き続き金の買い越しを続けると予想していますが、年間需要は300~350トンの水準を若干外れる可能性があります。その場合でも過去3年間のほぼ平均並みです。中央銀行が金購入を行う基本的な根拠は依然有効です。多くの新興市場では外貨準備に占める金の割合がまだ「最適水準」を大きく下回っています。また多くの中央銀行で、米ドルへの過度の依存から脱却して多様化を図る必要性が資産配分戦略を決める際の基盤となっています。

テクノロジー

テクノロジーに応用される金の需要は、第2四半期にわずかに増加しました。わずかとはいえ、前年比で需要が増加したのは過去2年間で初めてのことです。電子機器およびその他の産業と装飾品(OID)で需要が微増しましたが、歯科需要の継続的な減少によってその一部が相殺されました。

電子機器のサプライチェーンにおける在庫の増加が、このセクターの需要増加に貢献しました。金価格の調整はこのセクターが待ち望んでいた強力な追い風になり、メーカーは金価格の下落を利用して過去に減少した資産を補充しました。需要の増加は半導体分野(主に携帯電話やタブレット、そして自動車に特化した用途)に集中しました。この分野では、ボンディングワイヤ生産における金から銅へのシフトが、依然需要を脅かす深刻な要素になっています。

OIDの需要も金価格下落の恩恵を受けました。このセグメントでは従来通りインドが優勢でした。主な需要はジャリ(衣類に使用する金糸)であり、価格に敏感な同国市場は在庫の積み増しに一気に動きました。

歯科需要は長期的な減少トレンドを反転させることができず、過去最低を更新しました。セラミックや卑金属、パラジウムの利用の増加により、この市場での金のシェアは一段と減少しました。

図5: 中央銀行の需要(トン)



- 中央銀行は10四半期連続で金を買越し
- 金購入はCIS諸国の中央銀行に集中

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council



Download our research app for investors.

供給

第2四半期には金供給が前年同期比62.4トン減少しました。これはほぼすべて、市場に出るリサイクル金の量が減少したことで説明できます(図6)。

すでに簡単に解説しましたが、リサイクル金の供給量の減少には途上国の動向が大きく作用しました。途上国で十分に情報を獲得した消費者は、金価格の変動に素早く反応することができます。これらの国々ではリサイクルが2012年第2四半期と比べて25%縮小しました。また中国とインドにおける消費者の価格上昇期待(図1)を踏まえ、供給量を復活させるためには価格の大幅な反発が必要になる見込みです。

2013年1～6月のリサイクル金の供給量は672.1トンで、上半期の総量としては2007年以来的低い水準になりました。金融危機前の水準を下回った背景には、価格の下落だけでなく、先進国(特に米国)の消費者の間で「投げ売り」をする必要性が薄れたことが影響しています。先進国によるリサイクル金の供給は昨年同時期の水準を14%下回りました。多くの国々で経済回復の兆しが見られ、売りに出せる中古金の在庫が枯渇してしまっていることを考えると、第3四半期にリサイクル金の供給が量的に増える余地はほとんどありません。

過去5年間の平均ではリサイクル金が全供給量の40%を占めていました。リサイクルによる金の供給量は、特に途上国において価格に非常に敏感に反応します。第2四半期にリサイクル金の供給量が急激かつ大幅に減少し、全供給量の30%にまで落ち込みましたが、これは想定の内でした。

このことは過去の例でもおおむね当てはまります。**表3**は金価格とリサイクルの関係性を簡単に分析してまとめたもので、年間の平均金価格が2年以上連続で下落し、累積下落幅が10%以上となった期間のリサイクルの変化(ドルベース)を示しています。

このデータを見ると、金価格の大幅かつ持続的な下落局面では、平均金価格が10%下落することによりリサイクル金の供給が14%減少するという相関関係があることがわかります。これは注目に値する情報ですが、リサイクルの動向を左右するのは金価格だけではありません。経済成長や所得の増加、価格のボラティリティも影響する可能性があります。

表3: 長期的な金価格下落局面におけるリサイクルの変化(金額ベース)

	Cumulative decline in annual average gold price (London PM fix)	Cumulative reduction in recycling (US\$ value)
1980 – 1982	-38.9%	-69.8%
1983 – 1985	-25.1%	-15.5%
1987 – 1989	-14.7%	-27.4%
1990 – 1992	-10.3%	-17.6%
1996 – 1999	-28.2%	-30.8%
Average	-23.4%	-32.2%

図6: 四半期供給量(トン)



- 金価格の下落が主な原因で、リサイクル活動が金融危機前の水準まで縮小
- 鉱山生産はわずかに増加し、中国が前年対比での伸びに最も大きく貢献

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

リサイクルと金価格に相関関係が生まれる原因はさまざまです。価格下落時にはリサイクルで利益を求める動機が弱まるために、消費者が中古金を手放す可能性が低くなります。それ以外にも、経済に対するセンチメントが改善すれば、消費者がリサイクルで資金を調達する必要性が薄まります。さらに付け加えると、金価格が安い場合はリサイクルプロセスの採算を合わせることに難しくなり、価格が下落すればするほど、市場においてこのセクターが貢献する割合が小さくなります。

第2四半期は鉱山生産の伸び率が上昇しました。 鉱山生産は比較的安定していて、2008年第1四半期以降は緩やかな増加トレンドが見られます。同セクターの主な牽引役は前四半期からほとんど変わりませんでした。多くの中小鉱山会社で生産量を伸ばした中国が、増加分の大部分に貢献しました。ドミニカ共和国ではプエブロ・ピエホ鉱山が引き続き生産を拡大しました。ブラジルでは2012年第2四半期以降に新たに3つの鉱山が操業を開始し、金生産量が前年比で大きく増加しました。

一方、ペルー、ガーナ、インドネシアでは鉱山生産が前年よりも減少しました。

伝統的に鉱山生産は金価格の変動に対する反応が緩慢ですが、産金会社は第2四半期の価格下落に迅速に反応しました。最近では業界全体で支出削減や高コストの操業プロセスからの撤退の動きが見られ、これが年末までに供給パイプラインに影響を及ぼし始める可能性があります。

ヘッジ解消は15トンに達し、産金会社の間に依然としてヘッジポジション残高を減らしたい欲求があることを示しています。 新たなヘッジは実質的には生み出されず、新たなヘッジ活動のほとんどは、価格の更なる下落トレンドに対する保険というよりも、価格のボラティリティに対する防衛を意図するものに限定されました。

金需要統計

表4: 金需要(トン)

	2011	2012	Q3'11	Q4'11	Q1'12	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13	Q2'13 ¹	Q2'13 vs Q2'12 % chg	4-quarter % chg ²
Jewellery	1,975.1	1,896.1	457.0	472.5	490.8	420.8	462.1	522.5	551.4	575.5	37	15
Technology	451.7	407.5	115.2	103.4	105.8	103.3	102.1	96.2	102.2	104.3	1	-5
Electronics	319.9	284.5	82.7	72.7	73.8	71.4	72.3	67.0	71.8	72.8	2	-6
Other industrial	88.9	84.4	22.1	20.3	22.0	22.1	20.5	19.9	21.5	22.3	1	-3
Dentistry	42.9	38.6	10.5	10.4	10.0	9.8	9.3	9.4	8.8	9.2	-6	-10
Investment	1,703.8	1,534.7	508.9	462.4	397.9	285.9	425.3	425.6	229.1	105.4	-63	-28
Total bar and coin demand	1,518.7	1,255.6	421.5	358.0	344.7	285.9	287.5	337.4	405.6	507.6	78	9
Physical bar demand	1,185.8	944.6	327.0	281.3	265.4	211.7	213.9	253.7	294.7	370.7	75	4
Official coin	245.2	197.5	74.5	58.7	52.8	51.4	43.9	49.4	80.1	98.6	92	15
Medals/imitation coin	87.8	113.4	20.0	18.1	26.5	22.8	29.7	34.3	30.8	38.4	68	52
ETFs and similar products ³	185.1	279.1	87.4	104.4	53.2	0.0	137.8	88.1	-176.5	-402.2	-	-
Central bank net purchases	456.8	544.4	140.8	112.8	115.2	164.5	113.3	151.4	109.7	71.1	-57	-16
Gold demand	4,587.4	4,382.7	1,221.9	1,151.1	1,109.7	974.6	1,102.8	1,195.6	992.4	856.3	-12	-7
London PM fix (US\$/oz)	1,571.5	1,669.0	1,702.1	1,688.0	1,690.6	1,609.5	1,652.0	1,721.8	1,631.8	1,414.8	-12	-4

1 Provisional.

2 Percentage change, 12 months ended June 2013 vs 12 months ended June 2012.

3 For a listing of the Exchange Traded Funds and similar products, please see the *Notes and definitions*.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表5: 金需要(百万ドル)

	2011	2012	Q3'11	Q4'11	Q1'12	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13	Q2'13 ¹	Q2'13 vs Q2'12 % chg	4-quarter % chg ²
Jewellery	99,794	101,745	25,007	25,641	26,676	21,775	24,543	28,923	28,927	26,179	20	10
Technology	22,823	21,865	6,306	5,611	5,752	5,348	5,423	5,325	5,362	4,743	-11	-9
Electronics	16,164	15,266	4,523	3,946	4,010	3,696	3,841	3,708	3,769	3,310	-10	-10
Other industrial	4,493	4,530	1,207	1,103	1,196	1,142	1,087	1,100	1,130	1,012	-11	-7
Dentistry	2,166	2,069	576	563	546	509	495	518	462	421	-17	-14
Investment	86,085	82,350	27,847	25,097	21,628	14,794	22,589	23,559	12,017	4,794	-68	-30
Total bar and coin demand	76,735	67,375	23,067	19,431	18,736	14,795	15,272	18,680	21,278	23,091	56	3
Physical bar demand	59,911	50,689	17,897	15,267	14,424	10,954	11,360	14,044	15,463	16,863	54	-1
Official coin	12,388	10,600	4,076	3,184	2,870	2,661	2,333	2,735	4,202	4,484	68	8
Medals/imitation coin	4,436	6,086	1,094	980	1,442	1,180	1,579	1,901	1,614	1,745	48	46
ETFs and similar products ³	9,350	14,975	4,780	5,666	2,892	-1	7,317	4,879	-9,261	-18,297	-	-
Central bank net purchases	23,081	29,211	7,708	6,121	6,259	8,514	6,020	8,379	5,756	3,236	-62	-18
Gold demand	231,783	235,171	66,869	62,470	60,315	50,430	58,575	66,185	52,061	38,952	-23	-10

1 Provisional.

2 Percentage change, 12 months ended June 2013 vs 12 months ended June 2012.

3 For a listing of the Exchange Traded Funds and similar products, please see the *Notes and definitions*.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表6: 総投資需要(特に記載する場合を除きトン)

	2011	2012	Q3'11	Q4'11	Q1'12	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13	Q2'13 ¹	Q2'13 vs Q2'12 % chg	4-quarter % chg ²
Investment	1,703.8	1,534.7	508.9	462.4	397.9	285.9	425.3	425.6	229.1	105.4	-63	-28
Total bar and coin demand	1,518.7	1,255.6	421.5	358.0	344.7	285.9	287.5	337.4	405.6	507.6	78	9
Physical bar demand	1,185.8	944.6	327.0	281.3	265.4	211.7	213.9	253.7	294.7	370.7	75	4
Official coin	245.2	197.5	74.5	58.7	52.8	51.4	43.9	49.4	80.1	98.6	92	15
Medals/imitation coin	87.8	113.4	20.0	18.1	26.5	22.8	29.7	34.3	30.8	38.4	68	52
ETFs and similar products ³	185.1	279.1	87.4	104.4	53.2	0.0	137.8	88.1	-176.5	-402.2	-	-
OTC investment and stock flows ⁴	-88.4	30.3	-30.8	21.3	-73.9	110.9	50.9	-57.5	65.5	151.5	37	667
Total investment	1,615.4	1,565.0	478.0	483.7	324.0	396.8	476.2	368.0	294.6	256.9	-35	-17
Total investment US\$mn	81,617	83,976	26,160	26,250	17,608	20,535	25,291	20,373	15,455	11,688	-43	-20

1 Provisional.

2 Percentage change, 12 months ended June 2013 vs 12 months ended June 2012.

3 For a listing of the Exchange Traded Funds and similar products, please see the *Notes and definitions*.

4 For an explanation of OTC investment and stock flows, please see the *Notes and definitions*.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表7: 金の需要と供給(ワールド ゴールド カウンシル表記)

	2011	2012	Q3'11	Q4'11	Q1'12	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13	Q2'13 ¹	Q2'13 vs Q2'12 % chg	4-quarter % chg ²
Supply												
Mine production	2,838.8	2,862.5	742.1	725.1	666.2	706.9	744.1	745.3	676.5	732.2	4	2
Net producer hedging	10.8	-40.2	3.7	-15.2	-1.3	-8.0	1.3	-32.2	-11.0	-15.0	-	-
Total mine supply	2,849.6	2,822.3	745.8	709.9	664.9	699.0	745.4	713.1	665.5	717.2	3	1
Recycled gold	1,649.4	1,590.7	460.5	422.3	382.8	389.0	433.3	385.6	363.8	308.3	-21	-10
Total supply	4,499.0	4,413.0	1,206.3	1,132.2	1,047.7	1,087.9	1,178.7	1,098.7	1,029.3	1,025.5	-6	-3
Demand												
Fabrication												
Jewellery ³	1,975.1	1,896.1	472.2	432.3	502.7	423.2	487.1	483.1	522.8	593.1	40	14
Technology	451.7	407.5	115.2	103.4	105.8	103.3	102.1	96.2	102.2	104.3	1	-5
Sub-total above fabrication	2,426.8	2,303.6	587.4	535.7	608.5	526.6	589.2	579.3	625.0	697.4	32	10
Total bar and coin demand	1,518.7	1,255.6	421.5	358.0	344.7	285.9	287.5	337.4	405.6	507.6	78	9
ETFs and similar	185.1	279.1	87.4	104.4	53.2	0.0	137.8	88.1	-176.5	-402.2	-	-
Central bank net purchases ⁴	456.8	544.4	140.8	112.8	115.2	164.5	113.3	151.4	109.7	71.1	-57	-16
Gold demand	4,587.4	4,382.7	1,237.1	1,111.0	1,121.6	977.0	1,127.8	1,156.3	963.8	874.0	-11	-7
OTC investment and stock flows ⁵	-88.4	30.3	-30.8	21.3	-73.9	110.9	50.9	-57.5	65.5	151.5	37	667
Total demand	4,499.0	4,413.0	1,206.3	1,132.2	1,047.7	1,087.9	1,178.7	1,098.7	1,029.3	1,025.5	-6	-3
London PM fix (US\$/oz)	1,571.5	1,669.0	1,702.1	1,688.0	1,690.6	1,609.5	1,652.0	1,721.8	1,631.8	1,414.8	-12	-4

1 Provisional.

2 Percentage change, 12 months ended June 2013 vs 12 months ended June 2012.

3 Jewellery fabrication. The quarterly data differ from those for jewellery consumption shown in Table 4. Fabrication is the first transformation of gold bullion into a semi-finished or finished product. Jewellery consumption is equal to fabrication plus/minus jewellery imports/exports plus/minus stocking/de-stocking by distributors and manufacturers. On an annual basis, the consumption and fabrication data series will reconcile.

4 Excluding any delta hedging of central bank options.

5 For an explanation of OTC investment and stock flows, please see the *Notes and definitions*.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council. Data in the table are consistent with those published by Thomson Reuters GFMS in their Gold Survey but adapted to the World Gold Council's presentation.

表8: インドの供給推計(トン)

Figures in tonnes	Q2'12	Q3'12	Q4'12	Q1'13	Q2'13 ¹	2012
Supply						
Net imports, available for domestic consumption	153	223	255	215	338	860
Domestic supply from recycled gold	30	34	28	21	10	117
Domestic supply from other sources ²	2	2	3	2	2	10
Equals total supply ³	185	260	286	238	349	987

1 Provisional.

2 Domestic supply from local mine production, recovery from imported copper concentrates and disinvestment.

3 This supply can be consumed across the three sectors – jewellery, investment and technology. Consequently, the total supply figure in the table will not add to jewellery plus investment demand for India.

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表9: 公的セクターの金保有高上位40カ国(報告ベース、2013年6月時点)

		Tonnes	% of reserves			Tonnes	% of reserves
1	United States	8,133.5	70%	21	Austria	280.0	48%
2	Germany	3,390.6	66%	22	Belgium	227.4	33%
3	IMF	2,814.0	-	23	Philippines	192.7	9%
4	Italy	2,451.8	65%	24	Algeria	173.6	3%
5	France	2,435.4	65%	25	Thailand	152.4	3%
6	China	1,054.1	1%	26	Kazakhstan	130.9	19%
7	Switzerland	1,040.1	8%	27	Singapore	127.4	2%
8	Russia	996.4	7%	28	Sweden	125.7	7%
9	Japan	765.2	2%	29	South Africa	125.1	10%
10	Netherlands	612.5	52%	30	Mexico	123.9	3%
11	India	557.7	7%	31	Libya	116.6	4%
12	ECB	502.1	27%	32	BIS	115.0	-
13	Turkey	441.5	14%	33	Greece	112.0	76%
14	Taiwan	423.6	4%	34	Korea	104.4	1%
15	Portugal	382.5	84%	35	Romania	103.7	9%
16	Venezuela	365.8	66%	36	Poland	102.9	4%
17	Saudi Arabia	322.9	2%	37	Australia	79.9	6%
18	United Kingdom	310.3	12%	38	Kuwait	79.0	9%
19	Lebanon	286.8	22%	39	Indonesia	75.9	3%
20	Spain	281.6	23%	40	Egypt	75.6	21%

For information on the methodology behind this data, as well as footnotes for specific countries, please see our table of Latest World Official Gold Reserves, at http://www.gold.org/government_affairs/gold_reserves/

Source: IMF, World Gold Council

表10: 各国の消費者需要:2013年第2四半期(トン)

	Q2'12			Q2'13*			Q2'13* vs Q2'12, % change		
	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total
India	124.6	56.5	181.1	188.0	122.0	310.0	51	116	71
Greater China	108.8	50.1	158.9	167.3	127.3	294.6	54	154	85
China	99.5	47.9	147.4	152.8	122.9	275.7	54	157	87
Hong Kong	7.3	0.5	7.8	12.1	1.0	13.1	66	83	67
Taiwan	2.0	1.7	3.6	2.4	3.5	5.8	21	107	61
Japan	4.5	2.1	6.6	4.5	4.5	9.0	0	114	36
Indonesia	5.8	4.8	10.6	7.8	8.6	16.4	35	79	55
South Korea	2.0	0.8	2.8	2.1	1.1	3.2	7	40	17
Thailand	0.7	16.1	16.8	1.0	25.6	26.6	46	59	58
Vietnam	2.6	16.2	18.8	3.2	20.0	23.2	25	23	24
Middle East	42.0	7.0	49.1	55.7	11.6	67.4	33	66	37
Saudi Arabia	15.3	3.9	19.2	18.8	4.9	23.7	23	26	23
Egypt	8.4	0.5	8.8	12.5	0.9	13.4	50	84	52
UAE	14.2	2.1	16.3	18.8	4.0	22.8	32	90	40
Other Gulf	4.2	0.5	4.7	5.6	1.8	7.5	35	247	58
Turkey	19.1	18.0	37.1	26.4	37.9	64.3	38	111	73
Russia	15.8	-	15.8	16.5	-	16.5	4	-	4
USA	19.8	12.4	32.3	20.3	24.3	44.5	2	95	38
Europe ex CIS	8.3	75.6	83.9	7.1	85.8	92.9	-14	14	11
Italy	4.6	-	4.6	4.2	-	4.2	-9	-	-9
UK	3.8	-	3.8	3.0	-	3.0	-21	-	-21
France	-	0.6	0.6	-	0.3	0.3	-	-50	-50
Germany	-	33.5	33.5	-	40.6	40.6	-	21	21
Switzerland	-	17.3	17.3	-	20.4	20.4	-	18	18
Other Europe	-	24.2	24.2	-	24.5	24.5	-	1	1
Total above	353.9	259.7	613.6	499.8	468.8	968.7	41	81	58
Other	66.9	26.2	93.1	75.7	38.8	114.5	13	48	23
World total	420.8	285.9	706.7	575.5	507.6	1,083.2	37	78	53

*Provisional.

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表11: 各国の消費者需要:2013年第2四半期(金額ベース、百万米ドル)

	Q2'12			Q2'13*			Q2'13* vs Q2'12, % change		
	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total
India	6,448	2,924	9,371	8,552	5,549	14,101	33	90	50
Greater China	5,627	2,592	8,220	7,608	5,792	13,400	35	123	63
China	5,149	2,479	7,627	6,950	5,591	12,541	35	126	64
Hong Kong	378	27	405	550	43	594	46	61	47
Taiwan	101	87	188	107	159	265	6	82	41
Japan	233	109	342	205	205	409	-12	88	20
Indonesia	298	248	546	355	391	746	19	57	37
South Korea	101	41	143	96	51	146	-6	23	3
Thailand	35	835	870	45	1,167	1,211	29	40	39
Vietnam	134	838	972	147	910	1,057	10	9	9
Middle East	2,175	363	2,539	2,535	529	3,065	17	46	21
Saudi Arabia	792	202	994	855	223	1,078	8	10	9
Egypt	432	25	457	569	41	610	32	61	33
UAE	735	109	843	855	182	1,037	16	67	23
Other Gulf	217	27	244	257	84	340	18	205	39
Turkey	988	931	1,920	1,199	1,724	2,924	21	85	52
Russia	818	-	818	751	-	751	-8	-	-8
USA	1,026	644	1,670	921	1,104	2,025	-10	71	21
Europe ex CIS	431	3,912	4,343	324	3,903	4,227	-25	0	-3
Italy	235	-	235	189	-	189	-20	-	-20
UK	195	-	195	135	-	135	-31	-	-31
France	-	31	31	-	14	14	-	-56	-56
Germany	-	1,734	1,734	-	1,847	1,847	-	7	7
Switzerland	-	895	895	-	929	929	-	4	4
Other Europe	-	1,252	1,252	-	1,114	1,114	-	-11	-11
Total above	18,314	13,439	31,753	22,737	21,325	44,062	24	59	39
Other	3,461	1,356	4,817	3,443	1,766	5,209	-1	30	8
World total	21,775	14,795	36,570	26,179	23,091	49,270	20	56	35

*Provisional.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表12: 各国の消費者需要: 4四半期合計(トン)

	12 months ended Q2'12			12 months ended Q2'13*			Year on Year % change		
	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total
India	503.2	270.3	773.5	636.6	411.9	1,048.5	27	52	36
Greater China	555.6	270.6	826.2	640.7	357.6	998.3	15	32	21
China	521.2	261.6	782.8	601.5	345.2	946.7	15	32	21
Hong Kong	27.4	1.9	29.3	31.8	2.5	34.2	16	29	17
Taiwan	7.0	7.1	14.2	7.5	9.9	17.3	6	39	23
Japan	17.0	-33.1	-16.1	17.7	-7.0	10.7	4	-	-
Indonesia	31.3	27.0	58.3	33.4	22.8	56.2	7	-16	-4
South Korea	11.1	2.8	13.9	9.9	3.2	13.2	-11	17	-5
Thailand	3.4	104.3	107.7	3.2	92.2	95.4	-6	-12	-11
Vietnam	12.1	93.2	105.3	11.4	66.0	77.4	-5	-29	-26
Middle East	152.0	33.4	185.3	172.5	35.2	207.7	14	5	12
Saudi Arabia	48.8	17.5	66.3	51.2	17.5	68.7	5	0	4
Egypt	35.2	2.3	37.5	47.0	2.5	49.5	34	12	32
UAE	50.3	10.6	60.9	56.0	11.2	67.2	11	5	10
Other Gulf	17.6	3.0	20.6	18.3	4.0	22.3	4	33	8
Turkey	63.4	74.2	137.6	69.9	83.2	153.1	10	12	11
Russia	66.8	-	66.8	70.9	-	70.9	6	-	6
USA	112.2	68.8	181.0	109.2	71.2	180.4	-3	3	0
Europe ex CIS	47.7	368.6	416.2	41.8	270.6	312.4	-12	-27	-25
Italy	25.9	-	25.9	21.5	-	21.5	-17	-	-17
UK	21.8	-	21.8	20.3	-	20.3	-6	-	-6
France	-	6.9	6.9	-	2.2	2.2	-	-68	-68
Germany	-	153.8	153.8	-	116.3	116.3	-	-24	-24
Switzerland	-	111.5	111.5	-	71.1	71.1	-	-36	-36
Other Europe	-	96.3	96.3	-	80.9	80.9	-	-16	-16
Total above	1,575.9	1,279.9	2,855.8	1,817.3	1,406.8	3,224.1	15	10	13
Other	265.1	130.3	395.4	294.1	131.5	425.6	11	1	8
World total	1,841.0	1,410.2	3,251.2	2,111.5	1,538.2	3,649.7	15	9	12

*Provisional.

Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

表13: 各国の消費者需要: 4四半期合計(金額ベース、百万米ドル)

	12 months ended Q2'12			12 months ended Q2'13*			Year on Year % change		
	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	Total
India	27,063	14,567	41,631	32,618	21,127	53,745	21	45	29
Greater China	29,957	14,595	44,552	32,956	18,089	51,045	10	24	15
China	28,107	14,109	42,216	30,970	17,463	48,433	10	24	15
Hong Kong	1,472	103	1,575	1,604	125	1,729	9	21	10
Taiwan	378	383	760	382	501	883	1	31	16
Japan	914	-1,811	-897	910	-413	497	0	-	-
Indonesia	1,691	1,457	3,148	1,723	1,153	2,876	2	-21	-9
South Korea	601	147	748	514	163	677	-14	10	-10
Thailand	185	5,636	5,820	163	4,711	4,874	-12	-16	-16
Vietnam	650	5,034	5,684	583	3,380	3,963	-10	-33	-30
Middle East	8,162	1,798	9,960	8,784	1,793	10,578	8	0	6
Saudi Arabia	2,619	942	3,561	2,589	900	3,489	-1	-4	-2
Egypt	1,894	121	2,015	2,419	127	2,546	28	5	26
UAE	2,700	572	3,271	2,841	566	3,407	5	-1	4
Other Gulf	949	163	1,112	936	200	1,136	-1	23	2
Turkey	3,406	3,991	7,397	3,516	4,127	7,642	3	3	3
Russia	3,594	-	3,594	3,673	-	3,673	2	-	2
USA	6,055	3,713	9,768	5,726	3,620	9,345	-5	-3	-4
Europe ex CIS	2,569	19,878	22,447	2,212	13,833	16,045	-14	-30	-29
Italy	1,396	-	1,396	1,131	-	1,131	-19	-	-19
UK	1,173	-	1,173	1,081	-	1,081	-8	-	-8
France	-	376	376	-	116	116	-	-69	-69
Germany	-	8,291	8,291	-	5,913	5,913	-	-29	-29
Switzerland	-	6,026	6,026	-	3,655	3,655	-	-39	-39
Other Europe	-	5,184	5,184	-	4,148	4,148	-	-20	-20
Total above	84,847	69,004	153,851	93,377	71,583	164,960	10	4	7
Other	14,252	7,024	21,276	15,194	6,739	21,933	7	-4	3
World total	99,099	76,029	175,128	108,572	78,322	186,893	10	3	7

*Provisional.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

金需要の過去データ

表14: 金需要の過去データ¹

	Tonnes						US\$bn					
	Jewellery	Total bar and coin invest	ETFs and similar	Tech-nology	Central banks	Total	Jewellery	Total bar and coin invest	ETFs and similar	Tech-nology	Central banks	Total
2003	2,484	304	-	386	-620	2,594	29.0	3.6	-	4.5	-7.2	30.3
2004	2,616	354	133	419	-479	3,043	34.4	4.7	1.7	5.5	-6.3	40.0
2005	2,719	398	208	438	-663	3,100	38.9	5.7	3.0	6.3	-9.5	44.3
2006	2,300	417	260	468	-365	3,080	44.6	8.1	5.1	9.1	-7.1	59.8
2007	2,423	438	253	476	-484	3,106	54.2	9.8	5.7	10.6	-10.8	69.4
2008	2,304	875	321	461	-235	3,726	64.6	24.5	9.0	12.9	-6.6	104.4
2009	1,816	791	623	410	-34	3,606	56.8	24.7	19.5	12.8	-1.0	112.7
2010	2,020	1,218	382	465	77	4,163	79.5	47.9	15.0	18.3	3.0	163.9
2011	1,975	1,519	185	452	457	4,587	99.8	76.7	9.4	22.8	23.1	231.8
2012	1,896	1,256	279	407	544	4,383	101.7	67.4	15.0	21.9	29.2	235.2
Q2'07	666	135	-3	119	-145	773	14.3	2.9	-0.1	2.6	-3.1	16.6
Q3'07	604	112	139	117	-170	804	13.2	2.5	3.1	2.6	-3.7	17.6
Q4'07	578	65	80	111	-97	737	14.6	1.6	2.0	2.8	-2.4	18.6
Q1'08	484	101	73	122	-76	703	14.4	3.0	2.2	3.6	-2.3	20.9
Q2'08	559	149	4	124	-68	770	16.1	4.3	0.1	3.6	-1.9	22.2
Q3'08	694	283	149	119	-76	1,169	19.4	7.9	4.2	3.3	-2.1	32.7
Q4'08	567	346	95	96	-12	1,092	14.5	8.8	2.4	2.5	-0.3	27.9
Q1'09	356	147	465	88	-62	994	10.4	4.3	13.6	2.6	-1.8	29.0
Q2'09	445	210	68	102	9	834	13.2	6.2	2.0	3.0	0.3	24.7
Q3'09	492	210	42	107	10	861	15.2	6.5	1.3	3.3	0.3	26.6
Q4'09	522	211	42	113	10	897	18.5	7.5	1.5	4.0	0.4	31.7
Q1'10	528	252	6	114	58	958	18.8	9.0	0.2	4.1	2.1	34.2
Q2'10	415	307	296	116	14	1,147	16.0	11.8	11.4	4.5	0.5	44.1
Q3'10	514	313	50	120	23	1,019	20.3	12.3	2.0	4.7	0.9	40.2
Q4'10	564	346	30	116	-17	1,038	24.8	15.2	1.3	5.1	-0.8	45.6
Q1'11	555	401	-61	115	137	1,146	24.7	17.9	-2.7	5.1	6.1	51.1
Q2'11	491	339	54	118	66	1,068	23.8	16.4	2.6	5.7	3.2	51.7
Q3'11	457	422	87	115	141	1,222	25.0	23.1	4.8	6.3	7.7	66.9
Q4'11	472	358	104	103	113	1,151	25.6	19.4	5.7	5.6	6.1	62.5
Q1'12	491	345	53	106	115	1,110	26.7	18.7	2.9	5.8	6.3	60.3
Q2'12	421	286	0	103	165	975	21.8	14.8	0.0	5.3	8.5	50.4
Q3'12	462	288	138	102	113	1,103	24.5	15.3	7.3	5.4	6.0	58.6
Q4'12	522	337	88	96	151	1,196	28.9	18.7	4.9	5.3	8.4	66.2
Q1'13	551	406	-177	102	110	992	28.9	21.3	-9.3	5.4	5.8	52.1
Q2'13 ²	576	508	-402	104	71	856	26.2	23.1	-18.3	4.7	3.2	39.0

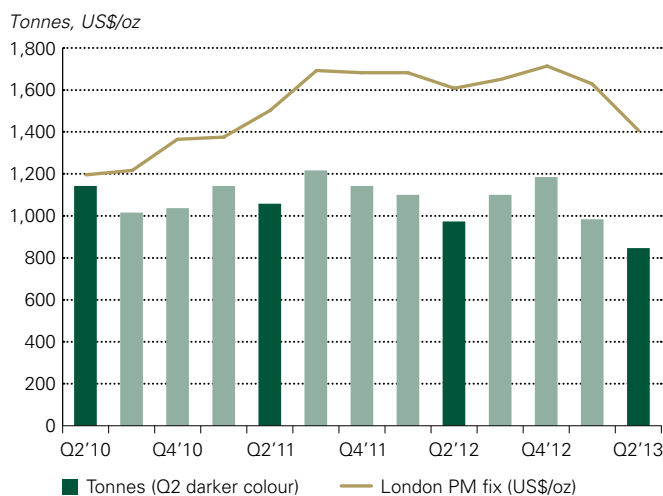
¹ See footnotes to Table 4 for definitions and notes.

² Provisional.

Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

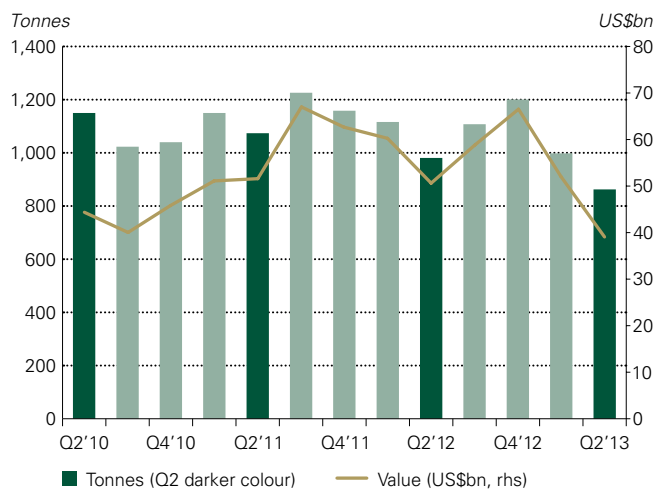
付録

図7: 金需要(トン)と金価格(米ドル/オンス)



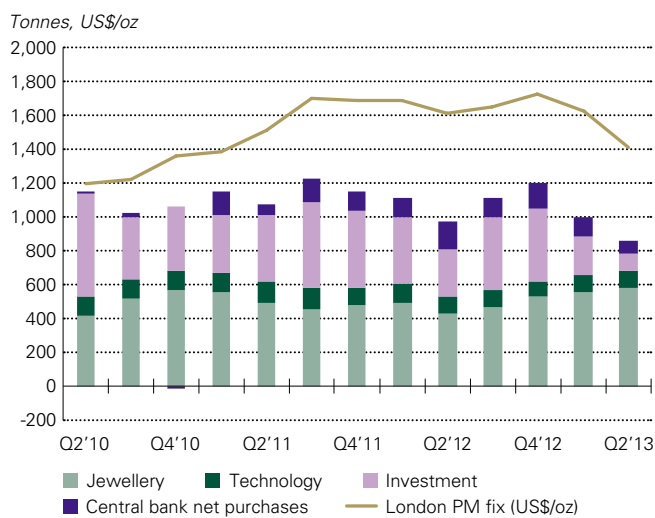
Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図8: 金需要(トンベースと金額ベース(10億米ドル))



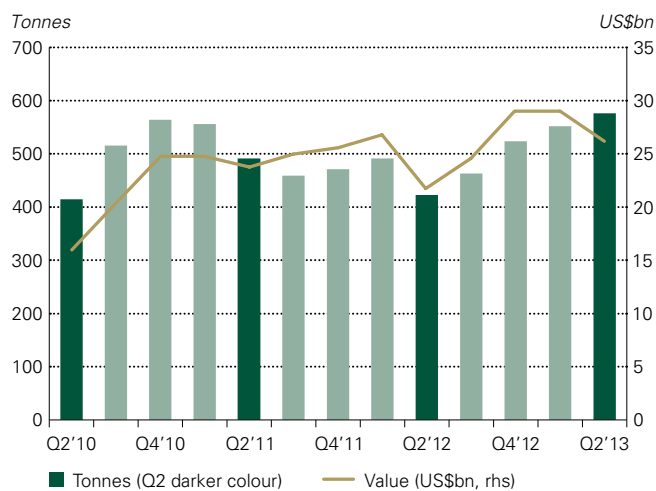
Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図9: 分野別金需要(トン)と金価格(米ドル/オンス)



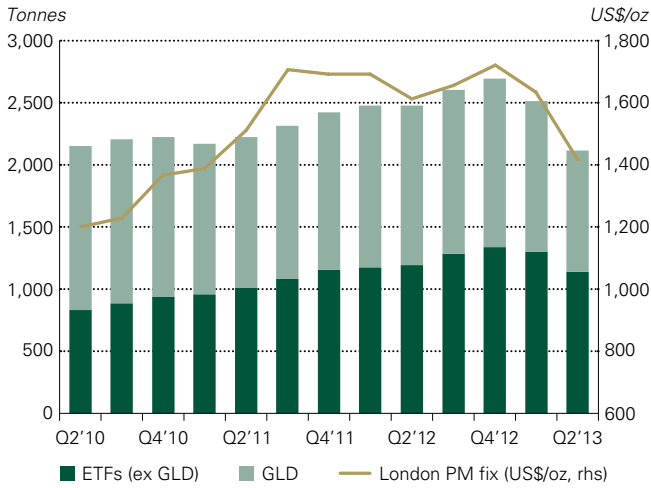
Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図10: 宝飾品需要(トンベースと金額ベース(10億米ドル))



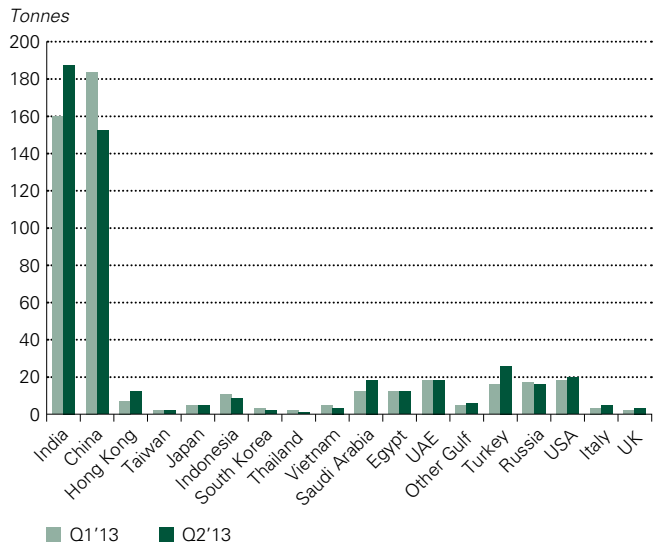
Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図11: ETFの保有高(トン)と金価格(米ドル/オンス)



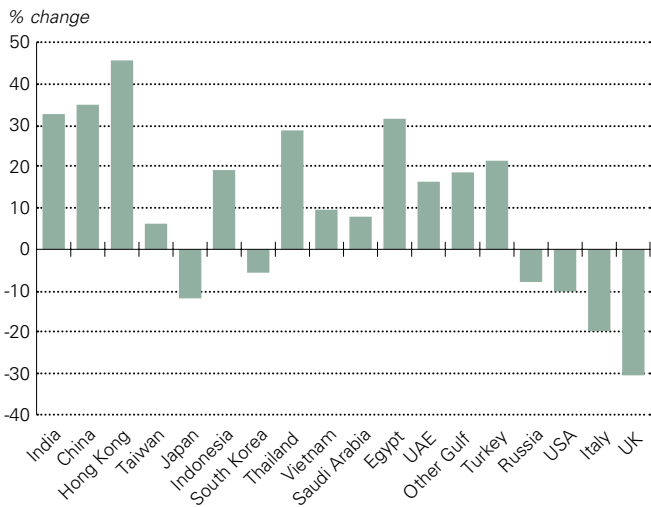
Source: LBMA, Thomson Reuters GFMS, www.exchangetradedgold.com, World Gold Council

図12: 宝飾品需要
(2013年第2四半期と2012年第2四半期の対比、トン)



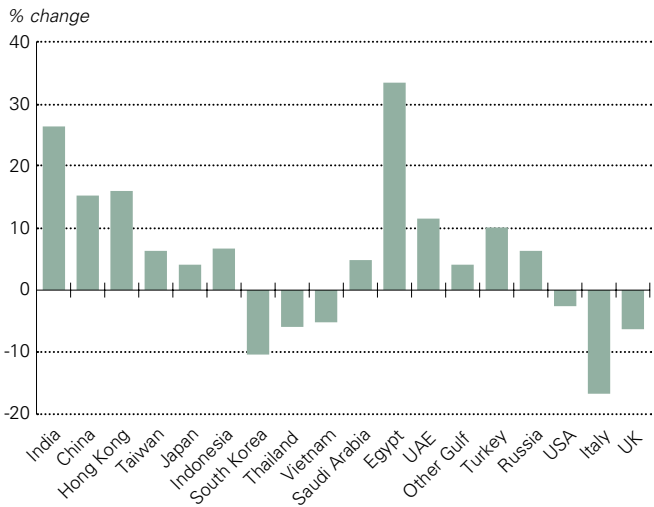
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図13: 国別宝飾品需要
(米ドルベース、2013年第2四半期と2012年第2四半期の対比、変化率%)



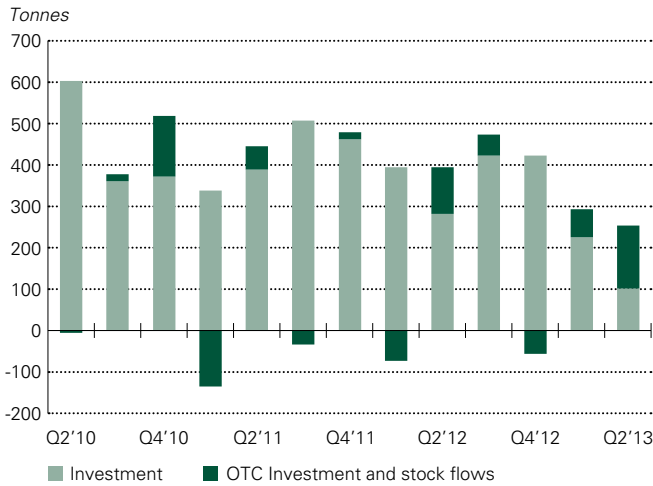
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図14: 国別宝飾品需要(トン、4四半期合計、変化率%)



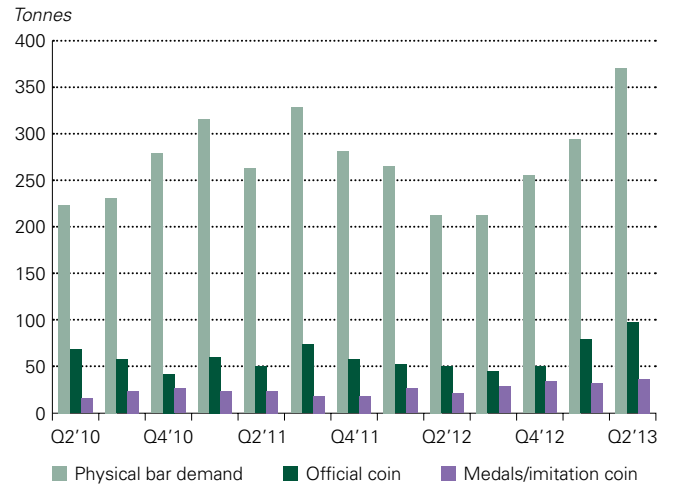
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図15: 総投資需要(トン)



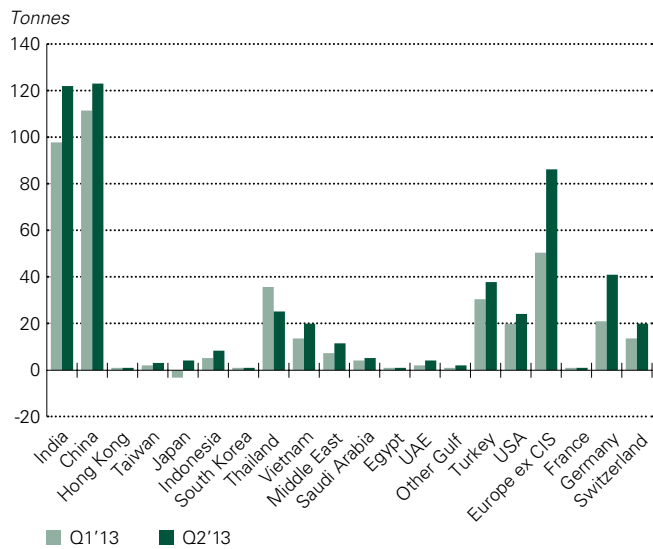
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図16: 分野別の金地金・金貨総需要(トン)



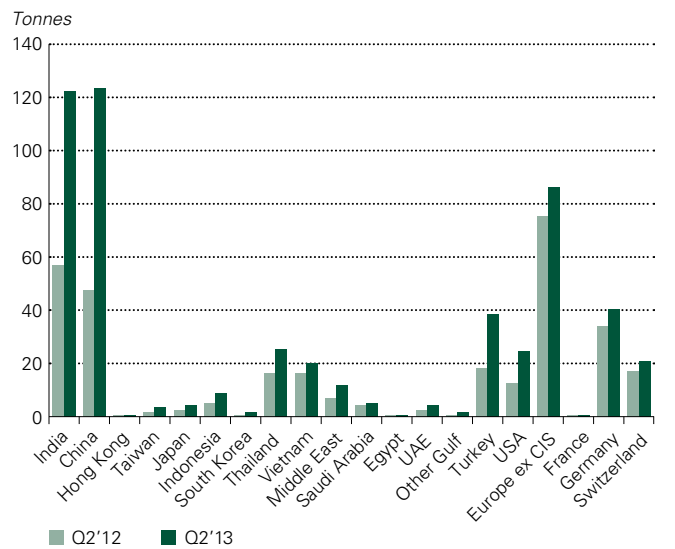
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図17: 金地金・金貨総需要
(2013年第2四半期と2013年第1四半期の対比、トン)



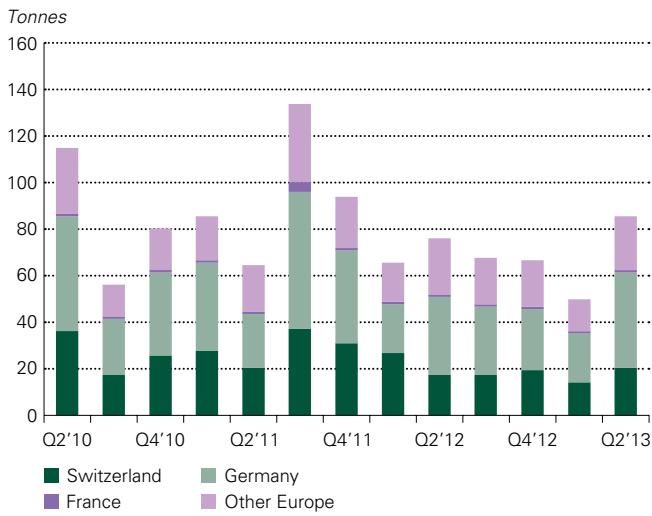
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図18: 金地金・金貨総需要
(2013年第2四半期と2012年第2四半期の対比、トン)



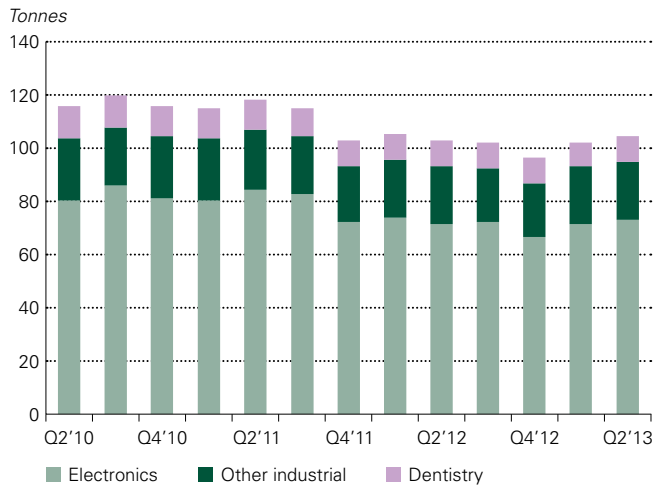
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図19: 欧州における金地金・金貨総需要(トン)



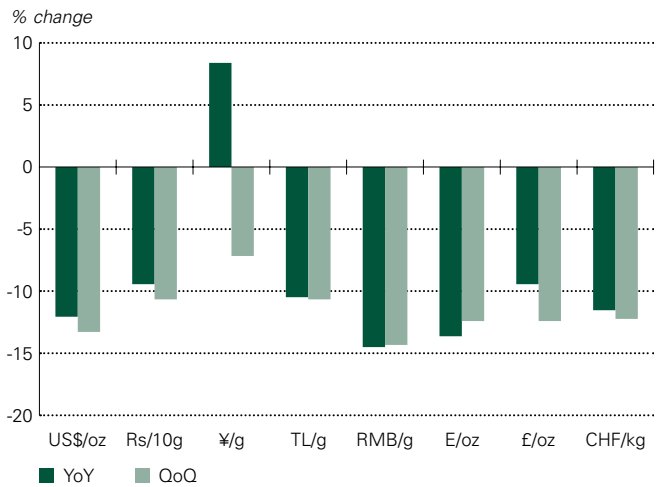
Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図20: 分野別のテクノロジー需要(トン)



Source: Thomson Reuters GFMS, World Gold Council

図21: 2013年第2四半期の平均金価格変化(変化率%)



Source: LBMA, Thomson Reuters Datastream, World Gold Council

注記および定義

統計情報はすべて(特に明記されない限り)純金の重量です。

“_”

該当なし、利用不可

消費者需要(Consumer demand)

ある国における宝飾品ならびに金地金・金貨の購入の総計(すなわち個人が直接取得した金の量)。

歯科用途(Dental)

未加工の金を使用して、歯科用途(歯科利用の合金など)の中間製品または最終製品に加工すること。

ETFおよびその類似商品(ETFs and similar products)

次のETFおよびその類似商品を含む: Gold Bullion Securities (London)、Gold Bullion Securities (Australia)、SPDR® Gold Shares (旧streetTRACKS Gold Shares)、NewGold Gold Debentures、iShares Comex Gold Trust、ZKB Gold ETF、GOLDIST、ETF Securities Physical Gold、ETF Securities (Tokyo)、ETF Securities (NYSE)、XETRA-GOLD、Julius Baer Physical Gold、Central Fund of Canada and Central Gold Trust、Swiss Gold、iShares Gold Bullion Fund (旧Claymore Gold Bullion ETF)、Sprott Physical Gold Trust、ETF Securities Glitter、Mitsubishi Physical Gold ETF、CS ETF II (旧Credit Suisse Xmtch II)、Dubai Gold Securities。

製造(Fabrication)

金塊から中間製品または最終製品への最初の変換。

宝飾品(Jewellery)

新たに製造されたすべてのカラット宝飾品および金時計(純金か他の原料を含むかは問わない)。ただし次のものは除外:中古宝飾品、金でメッキされた他の金属、宝飾品として利用される金貨・金地金、既存の宝飾品を下取りに出しての購入。

London PM fix

特に記載されない限り、ロンドン金価格(ロンドン午後決め値)に基づく金価格。

鉱山生産(Mine production)

公式および非公式の生産高。

産金会社のネット・ヘッジ額(Net producer hedging)

産金会社による金の先売り、貸し付けおよびオプション・ポジションの現物市場に与える影響を測定。ヘッジは金の売却、つまり金を(既存の在庫から)市場に放出する取引を加速させる。ヘッジ活動が長期間にわたって金供給をネットで増加させることはない。ヘッジ解消(ヘッジ・ポジションを解消するプロセス)は反対の影響を及ぼすもので、ある四半期において市場で利用可能な金の量を減少させる。

中央銀行の純購入(Central bank net purchases)

中央銀行等の公的機関による金購入総額から売却総額を控除したもの。スワップおよびデルタ・ヘッジの影響は除外している。

店頭市場投資および在庫変動

(OTC Investment and stock flows)

部分的には統計上の残差。このデータは主に、不透明な店頭市場での需要を反映するもので、製造業の在庫変動を含む場合もある。

金地金現物の需要(Physical bar demand)

延べ棒状の金現物に対する投資需要。

リサイクル金(以前は「金スクラップ」と表示)(Recycled gold)

過去に作られた製品から再生、精製して延べ棒状にされた金。

テクノロジー(Technology)

電子部品や歯科、医療、産業、装飾等の技術的用途において製造段階で使用されるすべての金の需要。電子部品用が最も大きな割合を占める。また、宝飾品のメッキに使用される金も含まれる。

トン(Tonne)

純金1,000キログラムまたは32,151トロイオンス。

金地金・金貨の総需要(Total bar and coin demand)

欧州連合(EU)が採用している金投資の基準に基づいて定義される、個人が購入した金貨・金地金。ただし、欧米だけではなく非欧米諸国の金貨・金地金需要も含まれる。最低でも純度99%の金貨、また少量で販売されるワイヤや金の塊も含まれる。実際には、最終的に地金ではなく貨幣と見なされることを了解のうえで販売されている様々な金貨も含まれている。中古コインは除外され、数字はネットの購入額を表す。

総投資(Total investment)

投資にかかわるすべての需要の合計で、金地金・金貨現物への需要、ETFおよびそれに類似する商品に対する需要、店頭市場投資および在庫変動を含む。

データの改訂

データはすべて、新しい情報に照らして改訂される可能性があります。

過去データ

データは、本レポート公表後ブルームバーグから入手できます。またはトムソン・ロイター・GFMS社(+ 44 20 7369 7015、jadwiga.zajac@thomsonreuters.com)へお問い合わせください。



情報元および著作権、免責事項について

© 2013 World Gold Council. 本レポートで言及されている金の供給および需要に関する統計情報は、そのように明記されている場合はトムソン・ロイター・GFMS社によって編集されたものです。トムソン・ロイター・GFMS社はかかる統計情報に関するすべての権利を保持します。© 2013

All rights reserved. 以下に記載される場合を除き、いかなる組織または個人も、著作権所有者の書面による合意なしに本レポート内の金の供給および需要に関する統計情報を再生、配布、使用することはできません。本レポート内の統計情報の使用は、以下の2つの前提条件に従って検討および解説(メディアでの解説を含みます)することを目的とする場合に許可されます。第1の前提条件は、限られたデータ抽出内容のみが使われることです。第2の前提条件は、これらの統計情報を使用するすべてのケースでワールド・ゴールド・カウンシルが、また必要に応じて情報元であるトムソン・ロイター・GFMS社が明白に了解していることです。解説および他のワールド・ゴールド・カウンシルの資料からの短い抽出内容については、ワールド・ゴールド・カウンシルが情報元として引用されることを条件に許可されます。本レポートまたはそれに含まれる統計情報の全部もしくは大部分を再生、配布、使用することはできません。

本レポートでは情報の正確性を確保するためにあらゆる努力がなされていますが、ワールド・ゴールド・カウンシルもトムソン・ロイター・GFMS社もかかる正確性を保証しません。また、本レポートに含まれる資料は、特定の受領者もしくは組織の特定の投資目的、財務状態または特別なニーズとはいかなる関係もありません。本レポートは情報を提供することのみを目的として公表されており、金や金に関連する商品、その他の商品や有価証券、投資商品を売買したり売買するように薦めたりするためのものと解釈すべきではありません。

本レポートに含まれる情報の正確性、完全性、信頼性に関しては、明示的か黙示的かを問わず、いかなる種類の表明または保証もされません。ワールド・ゴールド・カウンシルおよびトムソン・ロイター・GFMS社は、本レポートの使用から直接または間接的に生じるいかなる損失または損害に対するいかなる責任も負わないものとします。

本レポートには、将来の見通しに関する記述が含まれています。「考える(believes)」、「予想する(expects)」、「可能性がある(may)」、「示唆する(suggests)」またはそれらに類似する意味を持つ用語の使用は、「将来の見通し」に関する記述とします。本レポートに含まれる将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確実な要素を含む現在の予想に基づくものです。これらの将来に関する記述は、トムソン・ロイター・GFMS社によって編集された統計情報に基づいてワールド・ゴールド・カウンシルが行った分析に基づいています。上記に関する推定には、とりわけ将来の経済的な状況や、競争的な状況、市場の状況に関する判断が含まれており、これらはすべて正確に予測することが困難であるか、あるいは不可能なものです。また、金の需要および国際的な金市場は、将来の見通しに関する記述に特有の不確実性を増大させる様々なリスクに影響されます。本レポートに含まれている「将来の見通しに関する情報」に特有の大きな不確実性を考慮すれば、かかる情報を含めることは、将来の見通しに関する記述が実際にそのようになるということにワールド・ゴールド・カウンシルが表明しているとは見なされるべきものではありません。本レポートでワールド・ゴールド・カウンシルが表明している将来に関する記述には過度に依存しないように警告します。新しい情報や将来の出来事等があっても、通常の公表サイクル時以外でワールド・ゴールド・カウンシルは将来の見通しに関する記述を更新または改訂する意向はありません。また、将来の見通しに関する記述の更新については、ワールド・ゴールド・カウンシルはいかなる責任も負わないものとします。



ISO14001環境規格の認証を受けた印刷です。

World Gold Council
10 Old Bailey, London EC4M 7NG
United Kingdom

E investment@gold.org

T +44 20 7826 4700

F +44 20 7826 4799

W www.gold.org